

自然豊かな日本の農村を守るために 女性農家が取り組む次世代・消費者教育

活動地域  熊本県、他

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

出前授業の実施 **35回**

学生等の受入れ **40人**

今年度計画の達成度 **98%**

全体計画の達成度 **100%**



女性農家等による大学での出前授業

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

外部講師による対面式の出前授業が大学等で可能になったのが活動後半の直前だったため、日程と講師の調整をするのに苦勞した。調整後も第8波が長期化して調整に苦勞した。

■ 工夫した点

対面式の他、オンラインも選択肢に入れることで解決した。熊本県内での出前授業については講師の人数が増えてきたため、急遽行けなくなった場合でも別の講師を派遣できた。

課題

日本の農村人口や農業者数が減っており、将来的に農地や里山を維持する人手が確保できないと、食糧も生物多様性が失われ、持続可能な社会が実現できなくなる。

目標

都市と農村が協力し合って持続可能な生産と消費が「当たり前」となった社会の実現。またそれを可能にするため、意識が高い生産者を確保するための次世代育成体制の確立。

活動内容と成果

活動開始時から目指していた対面式の出前授業やセミナーをようやく実施できた(11校29回)他、オンラインでの実施(6回)も続け、女性農家に大きな負担をかけずに授業をできる仕組みができた。昨年度始めたPodcastを週1ペースで配信。出前授業等の講師ができる女性農業者を増やすため、オンラインセミナーも12回実施し、学生以外にも多様な層が参加してくれた。セミナー実施後にYouTubeで公開し、リアルタイムで参加できなかった人も視聴した。また学生等の受入れも実施した他、受入れ体制を整えることができた。



女性農家向けのオフラインセミナー

全助成期間の活動を振り返って

活動開始時に新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化し、活動遂行のため大きな工夫と転換を迫られたが、結果的には計画していた以上の成果を出すことができたと考える。全国の農山村を舞台とした活動をする上で、新型コロナウイルス禍でスタンダードになった会議やセミナー等のオンライン化は、むしろチャンスとなったからである。一方、対面による密度の濃いコミュニケーションや繋がり不足が懸念されたが、最終年度にそれをカバーすることができた。



大学生等の受入れ

〒869-1501
熊本県阿蘇郡南阿蘇村両併1283-3
電話：090-7926-6895
E-mail：inakano.heroine@gmail.com
HP：http://inakano-heroine.jp/



今後の展望

次世代育成のための講義や研修ができる仲間をさらに増やすため、今後もオンラインセミナーやPodcastの配信を続けていく。そのことで、単に次世代農業者を増やすという狭い視野ではなく、存続の危機にある「里山」を守るという上位目標に近づけるため、これから社会に出る高校生・大学生や消費者・生活者の環境教育を担える人材を増やしていく。また、女性農家同士の横の繋がりがりや企業や教育機関等との連携を深めていく。

